

令和元年度事業報告

我が国の経済は、平成24年12月以降緩やかな回復基調が続き、その間雇用情勢は大きく改善しました。しかし、2月末から3月にかけて新型コロナウイルス感染症が与える影響により、広島県の令和元年度の有効求人倍率は1.96倍となり平成30年度の2.08倍から0.12ポイント低下に転じました。

一方で、政府は「人生100年時代を迎え、働く意欲がある高齢者がその能力を十分に発揮できるよう、高齢者の活躍の場を整備することが必要である。」とされ、シルバー人材センター事業への期待が益々高まりました。当センターにおいても、第三次中期計画（平成27年度～平成31年度）の最終年度として様々な活動を実施しました。

シルバー人材センター事業の喫緊の課題とされている会員数「第2次会員100万人達成計画」に関しては、少子高齢化による労働力不足が今後も依然として強く見込まれるほか、企業等における定年延長の推進、年金受給開始年齢の上昇等の問題がある中、当センターの会員数は増加傾向にあり、同計画期間中は48人の増加となりました。（令和元年度は7人の増加）

事業実績につきましても、町内の各種イベントに参加する等積極的な普及啓発活動を実施した結果、請負・委任受注件数は63件の増加、契約金額は5,315千円の増加、派遣事業は受注件数4件の増加、契約金額は2,513千円の増加となりました。

しかし、「派遣延人員」、「就業延人員」、「就業率」につきましては、目標を下回る結果となりました。目標を達成できなかった各項目については、今後の課題として鋭意取り組んで参ります。

それでは以下のとおり、活動内容を報告します。

（1）事業運営の健全化と組織体制の強化

公益法人として、公益性を重視した事業運営に徹し、公平・公正・透明性のある事業運営を推進しました。

また、国や府中町からの補助金を有効に活用し、役・職員による営業活動を推進した結果、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）の拡大につながりました。

公益法人会計は収支相償が望ましいとされていますが、令和元年度については活動が制限され、2月末から3月末まで休止となり予算執行ができなかった事業もありました。

今後の不透明な状況を懸念し、財政基盤を崩さないことを優先しあえて黒字として法人の余力を残した決算となりました。

(2) 会員の増強

第三次中期計画の会員数（令和元年度は396人）を目標として、会員の確保に努めました。

町内の各種イベントに参加する他、10月に会員交流カフェを開催し、会員間の親睦と交流を深め退会防止に努めました。

また、入会説明会で職員による面談を実施することで就業のミスマッチに努めた結果、前年度より7人の会員増加となりました。

(3) 普及啓発活動の強化と実践

広報紙「安芸府中シルバーだより第38号」を町内全戸配布。より分かりやすい編集で会員の就業紹介を中心に、シルバー人材センター事業の普及啓発及びPRを行いました。

更に、より詳細な事業内容の提供や、会員向けの「事務局だより」等、ホームページの充実を図りました。

また、県連合が主催のセミナーの開催に協力し府中町のPRをしました。

(4) 就業機会の拡大と就業場所の確保

既存の契約先の継続受注や職域の拡大、就業機会の創出のため個人、企業、公共機関へ訪問を行い、シルバー事業に適した新規就業機会の開拓に取り組みました。

(5) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進

労働人口が減少する中、人手不足分野、介護・育児等の現役世代を支える分野において就業開拓を行い、会員の就業機会創出を図りました。

(6) 安全・適正就業の推進

安全委員会を中心に「安全がすべてに優先」を合言葉に、今年度も特に夏場の熱中症回避のための巡回をするとともに、安全部会による安全パトロールを実施しました。

しかし、賠償事故3件、傷害事故10件が発生しました。事故はいずれも就

業中で、慣れや過信によるものと推測され、引き続き事故の多い職種に対して巡回を強めていきます。

また、適正就業基準要綱を見直し、同一就業場所における会員の長期就業是正を図りました。

(7) 会員就業技術の向上

公益法人は、会員を構成員として成り立っているものであることの認識を深め、会員に主体的な事業参画を促すとともに、特に公共施設の就業にあたっては行政サービスの一環として顧客満足度の高い仕事を行い信頼を確保するため、接遇対応の研修（ワークショップ形式）として社会保険労務士による研修会を実施しました。

令和2年3月には、自動車安全運転に係る講習会を実施する予定としていましたが、新型コロナウイルスの影響で延期しました。

(8) 社会参加活動の推進

毎年10月の第3土曜日を「シルバーの日」に設定しており、役職員含め53名が参加し、くすのきプラザ周辺の道路清掃を行いました。

2月末か3月にかけてコロナウイルス感染症予防対策のため女性会員が会員用マスクをボランティアで縫製しました。

また、不審者から子供を守るため、多くの会員が小学校の登下校の見守り活動に協力しました。